



産業科学技術—南方フォーラム現場参加現況(4月7日)

## 科学技術産業の国産化

研究開発能力の向上は即、自主開発能力の向上を意味し、最終的には科学技術産業の国外依存から自国生産への移行を促すものである。そして、当面の課題はそのスピードにある。

2006年4月7日、台湾産業科学技術推進協会が国科会、經濟部、經建部等の指導の下、南科管理局、高苑科技大学、凱達格蘭学校と共に、「科学技術産業—南部フォーラム」を共同開催し、『台湾南部における科学技術産業の国産化』との重要な課題について検討会を行った。

フォーラムは国科会の謝清志前副委員長、台湾科学技術推進協会の黃得瑞前理事長、及び高苑科技大学創立者の余玲雅女史が共同司会を務め、また、考試院の姚嘉文院長、行政院の何美?政務委員、国科会副委員長の紀国鐘博士、本局前局長の戴謙博士(現国科会副委員長)等の識者を招き、台湾南部の科学技術産業の現状と将来について講演会を行った。

更に、その一ヶ月前の3月13日、南科管理局主催、中華民國南部科学園區産業學術協会及び台湾オプトエレクトロニクス、半導体設備産業協会の共催により、「FPD設備国産化製造検討会」が開かれ、FPD設備の国産化製造課題について交流、検討が行われた。

## 人材育成の全般的構想

### 海外に住む台湾華僑人材の帰国促進

「渡り鳥計画」は海外の優秀な人材の招致を促進し、華僑2代目の若い学生の帰国を促進する政策であり、国科会が主催し、優秀な台湾華僑学生を台湾に招いて、6週間の夏期訪問実習セミナーが行われた。

「渡り鳥計画」に参加した学生達(余新緯 Victor、謝明珠 Yuki、劉翊靖 Jummy、王以恬 Ellen、王倩菁 Jordana)がセミナー終了後、感動的な感想を残しているのでここに摘要を紹介する。



渡り鳥計画—我々は南科管理局のビジネスパートナー(7-8月)

今回、渡り鳥計画に参加し、私たちは皆この台湾という島に深い印象を受け、深く心を引かれた。そして、ここを去る時、言葉にならない寂しさと悲しみを感じた。6週間という期間は長くもあり、短くもあったが、私たちがここに深い感情を感じるのにぴったりの時間だったように思う。私たちにとって、この台南で過ごした日々は一生の思い出であり、決して忘れる事はないだろう。

## 南科探索オンライン活動

優秀な卒業生の南科への就業を促進し、南科企業がより多くの人材を獲得できるよう、南科管理局は過去の学校訪問方式を改め、2006年「2006南風に乗って—南科探索オンライン活動」を実施し、3万人以上の閲覧者を記録し、4千人以上が正式会員となった。更に、2006年5月20日、全国の40大学の学生を招待し、約400名の大学生が南科一日体験コースに参加し、園区内を見学した。

「南科は素晴らしいサイエンスパーク大学生の皆さん、将来、必ず戻ってきてください。」

## 専門職業訓練年間講座

2006年の専門及び技術人材訓練計画はオプトエレクトロニクス専門訓練と総合訓練の2種類が行われ、財団法人自強工業科学基金が訓練カリキュラムの実施を担当し、博大株式会社がカリキュラム管理を担当した。経費は合わせて2,716万円で、47コースが開かれ、訓練時間は967時間、訓練受講者は延べ1,724人に上った。

投資の面から見ると、人材育成に当てられるコストはそれほど高くなく、また、生産効率の向上に極めて高い効果が見られる。

## 管理学講座、及び産、官、学の交流

産業、学術、官の交流活動促進は現在の主流の趨勢であり、この交流により、理論、実務、政策等の緊密な結合が図られる。南科管理局は2006年、主催、共催合わせて29回の検討会、フォーラムを行い、延べ2,700人が参加した。

## ハイテク産業策略革新と核心人材育成計画

現在は分業の時代であり、人材育成もその例外ではない。南科管理局は2006年、「ハイテク産業策略革新と中核人材育成計画」講座を三回開催し、参加者は述べ400人以上に上った。主な内容は、園区内企業の経営ビジョンの開拓、経営利益の把握、高層経営管理カリキュラム等である。

## 半導体テクノロジーと産業フォーラム

学術交流は自己の知識の盲点を解決する最も有効な方法である。南科では2006年11月20日、「2006南科半導体テクノロジーと産業フォーラム」を国立高雄大学で開催し、台湾半導体産業の市場、製造、包装、未来展望等について深く掘り下げた講演が行われ、座談形式の意見交換の場が設けられた。



2006南科半導体科学技術と産業フォーラム実況(11月20日)

## 税関業務スタッフ講習

税関業務はリスト作成、手続き、署名、税関プロセスを含む煩雑な業務であり、南科管理局では税関業務スタッフの良好な実務学習の相互プラットフォームを提供すべく、2006年8月14日から16日までの三日間、税関及び科学工業園区同業組合南部園区事務所と合同で税関業務スタッフ講習を行った。

また、同年3月15日にも、高雄関税局がサービス向上と税関業務の推進のために、南科管理局と合同で、税関業務講習会を高雄園区内において行った。

## 日本語税制講座

税制と法律はそれぞれの国によって異なり、また時に修正されるものであり、これは台湾で会社を営む日本人にとって一つの障害となっている。この問題に対し、2006年2月24日、南科管理局は建業弁護士事務所、安侯建業会計士事務所、南科育成センター等と共に、全て日本語による会計及び法律講座を開催した。この講座を通し、日本人の台湾での会社経営が順調に進むよう希望している。



日本語税制講座(2月24日)